



にしなふみひで  
仁科文秀議員

### 就学前の公立施設は もっと特色を出せないか

**議員** きれいな園舎等、魅力のある私立に対し、児童減が目立つ公立の幼稚園・保育所を存続させるために笠岡市は何をしてきたのか。

**市長** 公立においては、国が示す教育要領等を踏まえ、将来を見据えた先導的な事項にも着実に取り組んでいる。何かをするということではなく、全て子どもたちの健全やかな成長のため取り組んできた。

**議員** 横江幼稚園では、存続を求めただけでなく、障がいがある子どもになじみにくい子等、「全ての子どもが安心して通える特色ある園」を保護者全体で考えているが。

**市長** 全幼稚園・保育所で実施しないといけない。加配教員の配置等、合理的配慮を一層充実する。



### 定住促進は、まず大人が笠岡を 好きにならなければ始まらない

**議員** 学校教育で郷土愛を育むことは大切だが、大人が笠岡を愛していなければ、いくら子どもに求めてもいけない。小さいときからそういう育て方が必要では。

**市長** そのとおりだと思う。私が10年前に帰って来たのも心の底では笠岡を愛していたからだ。

**議員** 西の浜にある郷土館の入館者は一日当たり何人か。

**市長** 平成29年度は、開館日数300日、年間入館者数602人。一日当たり約2人である。

**議員** 大人も子どもも笠岡を好きになってもらうためには来てもらわなければいけない郷土館。その考えを特に強く持つてほしい。



おおやまもりひさ  
大山盛久議員

### 市全体の有害鳥獣 駆除対策を

**議員** 笠岡市では、陸地部を初め島しよ部でもイノシシ被害が急増し、速やかに駆除を行う必要がある。前年度と比較した今年度の現在までの被害状況と捕獲状況をたずねる。

**市長** 笠岡市のイノシシによる被害通報は増加傾向にあり、昨年度は138件あり、30年度は1月末現在で約196件の通報が寄せられている。また捕獲状況は、猟友会駆除班や実施隊の皆様の協力もあり、今年度は今現在、約170頭のイノシシを捕獲しており、昨年度の実績95頭の約2倍となっている。



### 耕作放棄地の対応は

**議員** 後継者不足で農業の高齢化が問題となっているが、それに伴い、耕作が行われなくなり放置された農地が問題となっている。十分な管理が行われず周囲の迷惑になったり、景観の悪化や周囲の農地への悪影響となっている。笠岡市としてこの問題をどう解決していくのか。

**市長** 中山間地域で耕作放棄地が増加傾向にあり、その主な原因は農業従事者の高齢化、後継者不足であることから、耕作放棄地となる前に農業委員、農地利用最適化推進委員を通じ、農地中間管理機構の活用または利用権の設定等を行い、農地を集積する活動等を進めている。

